

FR横断側溝施工マニュアル

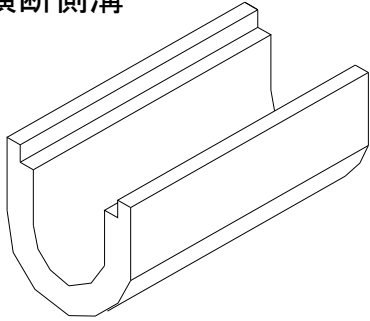


平成27年10月

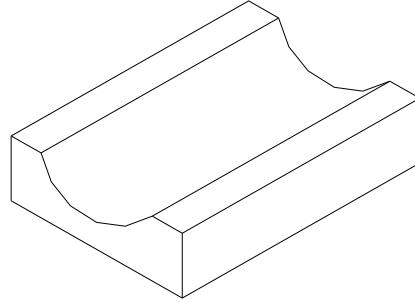
株式会社イビコン

1.製品構成

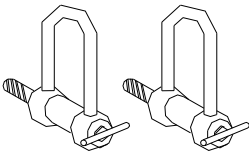
FR横断側溝



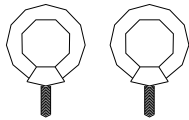
FR横断側溝用ベース



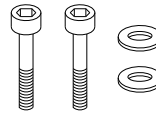
ロックシャフト
WA-40



アイボルト
M22



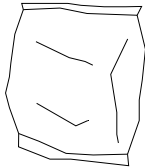
固定ボルト
六角穴付M22



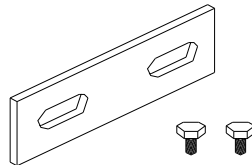
六角レンチ
M22



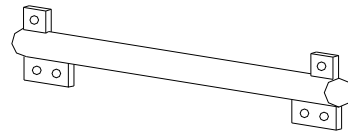
間詰材
早強系モルタル



連結プレート



吊天秤



付属品数量

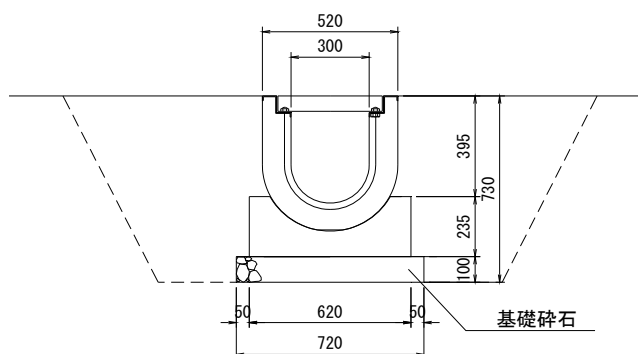
施工延長10m当たり
備考

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 備考 |
|---------------|--------------|----|----|------------------|
| FR横断側溝 | | 本 | 10 | |
| FR横断側溝用ベース | | 本 | 10 | |
| ロックシャフト※ | WA-40 | 本 | 2 | 側溝、ベース反転用、側溝施工用 |
| アイボルト※ | M22 | 本 | 2 | ベース施工用 |
| 固定ボルト(ワッシャー) | 六角穴付M22 | 本 | 20 | 側溝、ベース固定用 |
| 六角レンチ※ | M22 | 本 | 1 | 固定ボルト締結具 |
| 間詰材 | 早強系モルタル | kg | 40 | 製品1本当たり 1袋(4kg入) |
| 連結プレート(ボルト×2) | 50×200 t=4.5 | 枚 | 18 | 側溝左右連結用 |
| 吊天秤 | | 本 | 1 | 側溝、ベース施工用 |

※ロックシャフト、アイボルト、六角レンチ、吊天秤はレンタルとなります。

2.施工方法

①基礎工

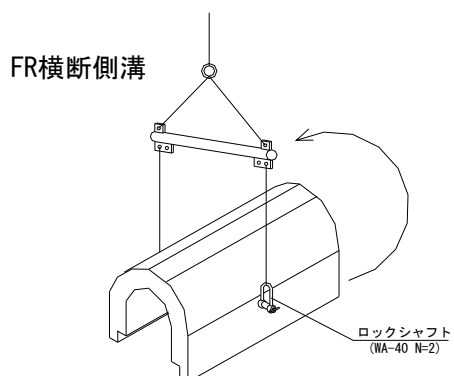


設置箇所を掘削し、設計図に基づき基礎を施工します。
※図面は弊社推奨のものです。現場状況や設計図書に従い、随時変更して下さい。

②製品据付

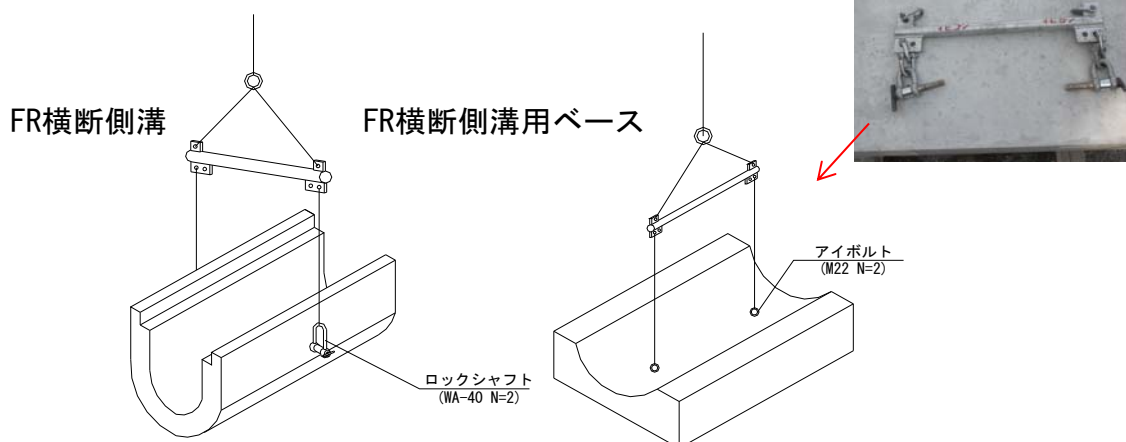
②-1 製品反転

側溝は、上下逆向きで納品となります。以下に従い反転して下さい。



製品側面にロックシャフトを取り付け、反転させます。この際、急に力を加えたり、製品の下に入り込んで作業しますと、事故に繋がる危険がありますので、作業には十分注意してください。

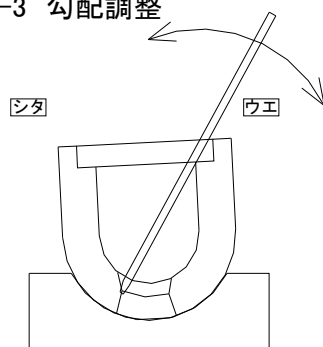
②-2 製品吊り上げ



側溝は反転で使用したロックシャフトにて、ベースは円形凹み部に設けられたインサートにM22アイボルトを使用して施工します。
側溝は衝撃を加えると回転する恐れがありますので、移動吊り上げて移動する場合などは十分注意してください。

※側溝端面に、「ウエ」「シタ」の刻印がございます。施工する際には、必ず勾配に対して高くなる方を「ウエ」となるように施工してください。

②-3 勾配調整



ベースを据え付け、その上に側溝を設置後、勾配を調整します。(およその目安として、各勾配に対して設置した際の寸法表が別途ございます)

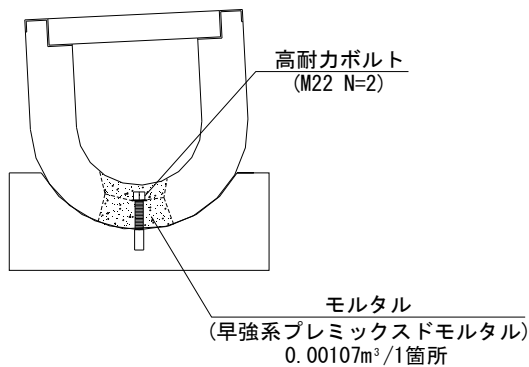
(およその目安として、各勾配に対して設置した際の寸法表が別途ございます)

②-4 側溝の固定



側溝側面を連結プレートで連結します。(写真左)
側溝とベースを、M22高力ボルトにて締結します。M22高力ボルトは、付属の六角レンチを用いて締結して下さい。

②-5 間詰



側溝とベースを固定するボルトを設置後、付属の早強系プレミックスドモルタルにて間詰します。

開口部の清掃を行い、下地処理として**十分に水湿させてください**。(乾燥したままですと付着の低下、硬化不良の原因となります)

【無収縮モルタル モルシャット】

材料と水を**水紛体比15~17%**で混ぜてください。
練り混ぜは紛体のダマが無くなるまで均一に練り混ぜてください。

※設置後養生3日で、必要強度が発現する材料となります。(25N/mm²以上)
必要強度が出ないまま車両が通過するなどの荷重が加わりますと、側溝がずれる可能性がありますので、必ず必要養生期間(3日)を確保した後、交通解放してください。

※必要強度が発現出来なくなる可能性がありますので、上記標準水紛体比は必ず守って下さい。

③埋戻し、完成

